



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 日本ピストンリング株式会社

コード番号 6461 URL <http://www.npr.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 山本 彰

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 越場 裕人

TEL 048-856-5011

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	25,311	3.4	924	△38.0	941	△18.9	618	△56.0
25年3月期第2四半期	24,472	2.2	1,492	△19.8	1,160	△23.1	1,403	6.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,907百万円 (139.2%) 25年3月期第2四半期 1,215百万円 (34.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	7.52	7.50
25年3月期第2四半期	17.09	17.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	60,485	23,726	39.1	288.01
25年3月期	61,241	22,716	34.8	259.46

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 23,671百万円 25年3月期 21,315百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	6.3	2,500	12.3	2,300	5.3	1,400	△30.5	17.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	83,741,579 株	25年3月期	83,741,579 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,552,862 株	25年3月期	1,587,666 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	82,173,914 株	25年3月期2Q	82,145,264 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年秋以降の円高是正や株高進展等により景況感に改善が見られましたものの、世界経済は欧州諸国における長引く債務問題や中国をはじめとする新興国の成長率の鈍化等により先行き不透明な状況が続きました。

当グループが関連する自動車業界におきましては、円高是正により輸出は回復傾向にあり、日系自動車メーカーの海外生産も緩やかに増加基調にあるものの、不採算製品の製品改廃をすすめたこと等により、売上高は253億11百万円と前年同四半期比3.4%増となりました。

損益面におきましては、第1四半期に海外拠点の税金還付請求訴訟に関する費用を計上した影響等により、営業利益は9億24百万円と前年同四半期比38.0%減、経常利益は9億41百万円と前年同四半期比18.9%減となりました。なお、四半期純利益は前年同期に受取補償金等の特別利益を計上したことにより、6億18百万円と前年同四半期比56.0%減となりました。

なお、セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

① 自動車関連製品事業

自動車関連製品事業は、円高の是正により輸出が回復傾向であること、及び日系自動車メーカーの海外生産が緩やかに増加基調になってきていること等の影響により、売上高は223億57百万円（前年同四半期比4.7%増）となったものの、海外拠点において税金還付請求訴訟に関する費用を計上した影響等により、セグメント利益は8億15百万円（前年同四半期比40.5%減）となりました。

② 舶用・その他の製品事業

舶用・その他の製品事業は、円高の是正により受注状況が回復傾向にあり、売上高は7億57百万円（前年度同四半期比5.2%増）となり、セグメント利益は86百万円（前年同四半期比105.0%増）となりました。

③ その他

商品等の販売事業を含むその他における売上高は、既存製品の受注減少により、21億96百万円（前年同四半期比8.6%減）となり、セグメント利益は22百万円（前年同四半期比72.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、7億56百万円減少し、604億85百万円となりました。これは主に、「受取手形及び売掛金」の増加9億45百万円、設備投資による「有形固定資産」の増加11億41百万円及び保有株式の株価上昇に伴う「投資有価証券」の増加11億96百万円に対し、「現金及び預金」の減少33億19百万円及び流動資産「その他」の減少6億11百万円があったこと等によるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、17億66百万円減少し、367億58百万円となりました。これは主に、「支払手形及び買掛金」の増加2億33百万円、「繰延税金負債」の増加4億13百万円、「退職給付引当金」の増加1億57百万円に対し、「有利子負債」の減少19億65百万円及び「設備関係支払手形」の減少5億7百万円等によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、10億9百万円増加し、237億26百万円となりました。これは主に、「為替換算調整勘定」の増加13億59百万円及び「その他有価証券評価差額金」の増加7億73百万円に対し、子会社株式の追加取得による「少数株主持分」の減少13億54百万円があったこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて33億200百万円減少し、38億43百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、35億45百万円の収入（前年同四半期比2億25百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が9億41百万円となり、減価償却費が19億67百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、43億18百万円の支出（前年同四半期比32億56百万円の増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出26億60百万円及び子会社株式の追加取得による支出15億45百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、28億39百万円の支出（前年同四半期比7億64百万円の減少）となりました。これは主に、短期借入金が4億11百万円減少し、長期借入金4億円の借入と20億73百万円の返済等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、受注の増加や為替レートを95円/ドル、125円/ユーロに見直したこと等により、修正いたしました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,165	3,845
受取手形及び売掛金	7,938	8,883
たな卸資産	7,930	7,829
繰延税金資産	638	689
その他	1,290	679
貸倒引当金	△44	△44
流動資産合計	24,918	21,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,133	8,484
機械装置及び運搬具（純額）	10,835	11,914
土地	5,018	5,062
建設仮勘定	1,904	1,541
その他（純額）	809	839
有形固定資産合計	26,701	27,842
無形固定資産合計	969	1,020
投資その他の資産		
投資有価証券	7,167	8,364
長期貸付金	9	6
繰延税金資産	235	247
その他	1,379	1,240
貸倒引当金	△140	△120
投資その他の資産合計	8,651	9,738
固定資産合計	36,322	38,601
資産合計	61,241	60,485

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,089	7,322
短期借入金	4,777	4,463
1年内返済予定の長期借入金	3,662	2,587
リース債務	387	416
未払法人税等	301	372
災害損失引当金	22	—
設備関係支払手形	2,066	1,559
その他	3,150	3,066
流動負債合計	21,457	19,789
固定負債		
長期借入金	11,262	10,667
リース債務	1,541	1,530
繰延税金負債	752	1,165
退職給付引当金	3,292	3,450
その他	219	156
固定負債合計	17,067	16,969
負債合計	38,524	36,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,839	9,839
資本剰余金	5,875	5,875
利益剰余金	5,254	5,459
自己株式	△349	△342
株主資本合計	20,620	20,832
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,780	3,554
繰延ヘッジ損益	△30	△20
為替換算調整勘定	△2,054	△695
その他の包括利益累計額合計	695	2,838
新株予約権	13	21
少数株主持分	1,387	33
純資産合計	22,716	23,726
負債純資産合計	61,241	60,485

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	24,472	25,311
売上原価	19,197	19,934
売上総利益	5,274	5,377
販売費及び一般管理費	3,782	4,452
営業利益	1,492	924
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	56	83
為替差益	—	82
その他	76	109
営業外収益合計	136	279
営業外費用		
支払利息	213	180
為替差損	174	—
その他	79	81
営業外費用合計	467	262
経常利益	1,160	941
特別利益		
補助金収入	43	—
災害損失引当金戻入額	67	—
受取補償金	514	—
特別利益合計	625	—
税金等調整前四半期純利益	1,786	941
法人税、住民税及び事業税	336	462
法人税等調整額	△44	△84
法人税等合計	292	378
少数株主損益調整前四半期純利益	1,494	563
少数株主利益又は少数株主損失(△)	90	△54
四半期純利益	1,403	618

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,494	563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△443	773
繰延ヘッジ損益	△27	10
為替換算調整勘定	191	1,560
その他の包括利益合計	△278	2,343
四半期包括利益	1,215	2,907
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,095	2,761
少数株主に係る四半期包括利益	119	146

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,786	941
減価償却費	1,861	1,967
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△255	△22
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△22
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	144	149
受取利息及び受取配当金	△59	△87
支払利息	213	180
為替差損益 (△は益)	174	△82
受取補償金	△514	—
売上債権の増減額 (△は増加)	702	△515
たな卸資産の増減額 (△は増加)	178	595
未収入金の増減額 (△は増加)	△404	△28
仕入債務の増減額 (△は減少)	△307	△166
その他	△244	601
小計	3,272	3,511
利息及び配当金の受取額	59	87
利息の支払額	△211	△181
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△314	△371
補償金の受取額	514	499
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,320	3,545
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△985	△2,660
無形固定資産の取得による支出	△80	△21
子会社株式の取得による支出	—	△1,545
その他	4	△90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,061	△4,318
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△375	△411
長期借入れによる収入	—	400
長期借入金の返済による支出	△2,546	△2,073
配当金の支払額	△243	△406
少数株主への配当金の支払額	△261	△142
その他	△175	△205
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,603	△2,839
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	291
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,337	△3,320
現金及び現金同等物の期首残高	7,697	7,163
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,359	3,843

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	自動車関連 製品事業	船用・その他 の製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,350	719	22,069	2,402	24,472	—	24,472
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	21,350	719	22,069	2,402	24,472	—	24,472
セグメント利益	1,369	42	1,412	80	1,492	—	1,492

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品等の販売事業を含んでおりません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	自動車関連 製品事業	船用・その他 の製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,357	757	23,114	2,196	25,311	—	25,311
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	22,357	757	23,114	2,196	25,311	—	25,311
セグメント利益	815	86	902	22	924	—	924

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品等の販売事業を含んでおりません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

自動車関連製品事業におきましては、当第2四半期連結会計期間にエヌティー ピストンリング インドネシア社の株式を少数株主より取得し、完全子会社としております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては93百万円であります。